

項目	内容
名称	テリハボク、ヤラボ、タマナ、タマヌ [英]Laurelwood、Tamanu、Alexandrian-laurel、Alexandrinischer Lorbeer [学名]Calophyllum inophyllum
概要	テリハボク (照葉木) は、オトギリソウ科の常緑高木。高さ10~20 m程度に生長する。主に種子の油や樹皮、根などが用いられる。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・ 種子の油脂にはカロフィリン酸、イノフェニン酸、カラウストラリン、イノフィリン酸、樹脂にはイノフィリン酸、カロフィロイド、γ-シトステロールを含む (29)</p> <p>。</p>
分析法	-
有効性	
ヒトでの評価	<p>循環器・呼吸器 調べた文献の中に見当たらない。</p> <p>消化系・肝臓 調べた文献の中に見当たらない。</p> <p>糖尿病・内分泌 調べた文献の中に見当たらない。</p>

生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳</p> <p>(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館</p> <p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)</p> <p>(34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一</p> <p>(35) 新分類 牧野日本植物図鑑 北隆館</p> <p>(80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ</p> <p>(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:15500678) Contact Dermatitis. 2004 Oct;51(4):216-7. (PMID:27642356) Evid Based Complement Alternat Med. 2016;2016:7869710.</p>